

第36回(2015年度)助成研究テーマ一覧

分野	番号	区分	研究者 (敬称略)	所属	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 期間
大 気	1	一般	坪内 直人	北海道大学大学院 工学研究院	安価な低品位褐鉄鉱を用いるコークス炉ガス中の含窒素化合物の分解除去法の開発	1,000	継続 3/3
	2	一般	忽那 周三	(国研)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門	マイクロバブルとアルカリ水による代替フロン の省エネルギー処理システムの開発	1,500	1/2
	3	一般	財津 慎一	九州大学大学院 工学研究院 応用化学部門	共振器増強光周波数コムラマン分光法による放 射性水素同位体の高感度検出法の開発	1,500	1/2
	4	一般	野田 和俊	(国研)産業技術総合研究所 環境管理技術研究部門	現場環境下で容易に測定できる水銀検知手法 の開発	1,000	継続 3/3
	5	一般	高岡 昌輝	京都大学大学院 地球環境学堂	排ガス中水銀除去用吸着材の開発及び脱着機 構の解明	1,500	1/2
	6	一般	島田 幸治郎	東京農工大学 グローバルイノベーション研究機構	東京郊外における PM2.5 化学成分の粒径別解 析	1,500	継続 2/2
	7	一般	猪俣 敏	(国研)国立環境研究所 地球環境研究センター	ガス-粒子間反応でのオリゴマー化による粒子 成長に関する研究	1,500	継続 2/2
	8	一般	定永 靖宗	大阪府立大学大学院 工学研究科	東アジアから輸送される PM2.5 主要成分の中 日本地域への影響	1,500	継続 2/2
	9	一般	鳥羽 陽	金沢大学 医薬保健研究域	PM2.5 に含有される有害多環芳香族炭化水素 類に関する大気微小環境の評価	1,500	継続 2/2
	10	一般	猪股 弥生	(一財)日本環境衛生センター アジア大気汚染研究センター	硫黄同位体比による微小粒子の発生源寄与解 析	1,500	継続 2/2
	11	一般	長門 研吉	高知工業高等専門学校 機械工学科	強電場を用いた大気ナノ粒子分析法の開発	1,200	継続 2/2
	12	一般	永淵 修	滋賀県立大学 環境科学部 環境生体学科	大陸から輸送される水銀と PM2.5 の起源と輸送 拡散機構の解明	1,500	継続 2/2
	13	一般	王 青躍	埼玉大学大学院 理工学研究科	春秋季における花粉アレルゲン微小粒子の飛 散情報と生体毒性の解析	1,500	1/3
	14	一般	田中 茂	慶應義塾大学 理工学部 応用化学科	フィルターを用いない荷電ミスト噴霧による PM2.5(微小粒子)の除去処理装置の試作と性 能評価	1,500	1/2
	15	若手	本田 晶子	京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻	PM2.5 健康影響決定成分・要因の特定 - 粒子と化学物質成分の複合影響評価 -	1,000	1/2
	16	一般	奥田 知明	慶應義塾大学 理工学部 応用化学科	リアルタイム高感度元素分析を指向した大気エ アロゾル濃縮装置の開発	1,500	1/2
	17	一般	松田 和秀	東京農工大学 農学部附属広域 都市圏フィールドサイエンス教育研究セ ンター	PM2.5 予測精度向上のための森林への沈着・ 除去メカニズムの解明	1,500	1/2
	18	一般	山本 剛	九州大学大学院 工学研究院 化学工学部門	高効率連続再生式 PM2.5 除去装置の開発とそ の低温下に関する研究	1,500	1/2
	19	一般	坂本 哲夫	工学院大学 先進工学部 応用物理学科	水分等を含む PM2.5 の粒別分析法の開発と越 境微粒子への応用	1,450	1/2
	20	一般	宮崎 雄三	北海道大学 低温科学研究所 水・物質循環部門	人為起源汚染物質が促進する植生起源 PM2.5 生成の評価	1,500	1/1

分野	番号	区分	研究者 (敬称略)	所属	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 期間
水質	21	若手	押木 守	長岡工業高等専門学校 環境都市工学科	鉄還元型嫌気性アンモニア酸化プロセスによる 超省エネルギーかつ省コストな窒素除去技術の 創出	1,000	継続 2/2
	22	一般	楠井 隆史	富山県立大学 工学部	WET 試験用の小規模海産生物種試験バツテリ ーの開発と感受性評価	1,500	1/3
	23	一般	村上 賢治	秋田大学大学院 工学資源学研究科	磁性を有する感温性吸着凝集剤の開発	1,500	1/2
	24	一般	濱村奈津子	九州大学大学院 理学研究院生物科学部門	微生物による重金属変換プロセスの基質特異 性を利用したレアメタルの選択的回収に関する 研究	1,500	継続 2/2
	25	若手	石井 陽祐	名古屋工業大学大学院 工学研究科物質工学専攻	電気化学反応を利用した亜鉛含有排水の新規 浄化法の開発	1,000	1/2
	26	若手	林 文隆	信州大学 工学部 環境機能工学科	高機能性無機結晶を用いた排水・環境水からの 稀金属イオンの選択回収	1,000	1/2
	27	若手	川崎 一雄	富山大学 大学院理工学研究部	環境磁気的手法を用いた鉱滓捨て場中の植生 と重金属の挙動の研究	1,000	継続 2/2
	28	一般	齋藤 伸吾	埼玉大学大学院 理工学研究科 物質科学部門	ゲル電気泳動法を基盤とする環境中腐植物質- 重金属錯体のスペシエーション	1,500	1/3
	29	一般	飯野 隆夫	(国研)理化学研究所 バイオリソースセンター 微生物材料開発室	金属腐食を引き起こす微生物の新規モニタリ ング技術の開発	1,500	1/3
	30	一般	八木 孝司	大阪府立大学大学院 理学系研究科	土壌重金属のエピジェネティックな活性評価法 の確立	1,500	1/2
	31	一般	田上 恵子	(国研)放射線医学総合研究所 放射線防護研究センター 廃棄物技術開発研究チーム	土壌・農作物中の希土類元素等レアメタル存在 量調査と農作物移行量推定モデルの開発	1,400	1/2
	32	一般	中島 典之	東京大学 大学院工学系研究科	遺伝子発現および代謝産物の網羅的解析に基 づく汽水産底生甲殻類への影響要因推定手法 の開発	1,500	1/3
	33	一般	益永 茂樹	横浜国立大学大学院 環境情報研究院	海域における銅の生物利用可能性を考慮した 生態リスク評価	1,500	1/2
	34	一般	金田一 智規	広島大学大学院 工学研究院 社会環境空間部門	膜分離とヒドロキシルアミン添加制御による一槽 型アナモックスの構築と処理の安定化	1,500	1/2
	35	一般	松尾 基之	東京大学大学院 総合文化研究科 広域科学専攻	鉄の化学状態と放射性セシウムを指標とした貧 酸素水塊環境下にある東京湾底質の堆積環境	1,500	1/2
副産物	36	一般	菊本 統	横浜国立大学 大学院 都市イノベーション研究院	鉄鋼スラグの水硬性を活かした粘り強い土構造 物の研究	1,000	継続 3/3
	37	一般	山末 英嗣	京都大学 エネルギー科学研究科	アルカリ炭酸塩を用いた鉄鋼スラグからのリン回 収	1,500	継続 2/2
	38	若手	橋本 勝文	北海道大学 大学院工学研究院	高炉スラグ微粉末を用いた放射性廃棄物セメント 水和固化体の長期変質挙動	1,000	継続 2/2
	39	一般	伊藤 公久	早稲田大学 基幹理工学部応用数理学科	鉄鋼スラグの環境調和性向上を目指したシミュ レータと評価法の開発	1,500	継続 2/2
	40	一般	佐藤 努	北海道大学大学院 工学研究院 環境循環システム部門	カルシア改質土の硬化メカニズムの解明と硬化 後物性の予測	1,500	継続 2/2
	41	一般	井上 亮	秋田大学 国際資源学部	ステンレス溶製スラグの無害化処理法の検討	1,500	継続 2/2

分野	番号	区分	研究者 (敬称略)	所属	研究テーマ	助成 金額 (千円)	研究 期間
副 産 物	42	一般	杉本 憲司	宇部工業高等専門学校 物質工学科	藻場ネットワークを考慮した藻場造成適地モデルの開発	1,500	継続 2/2
	43	若手	高 旭	東北大学 多元物質科学研究所	水田土壌改良材としての製鋼スラグのデザインング	1,000	1/2
	44	一般	澁谷 啓	神戸大学大学院 工学研究科 市民工学専攻	交通荷重を受ける鉄鋼スラグ混合盛土の長期変状に関する研究	1,500	1/2
	45	若手	酒井 雄也	東京大学 生産技術研究所	鉄鋼スラグを混合したセメント硬化体の高圧環境下でのパフォーマンス	1,000	1/1
	46	若手	須田 裕哉	豊田工業高等専門学校 環境都市工学科	C-S-H の物理的・電気的性質による高炉セメント硬化体の物質移動性状の解明	1,000	1/1
地 球 環 境	47	一般	篠竹 昭彦	帝京大学 理工学部 機械・精密システム工学科	高炉羽口先の多種還元材吹き込みに対応する燃焼モデルの開発	1,000	継続 2/3
	48	一般	埜上 洋	東北大学 多元物質科学研究所	低炭素操業下の高炉融着帯の溶融・流動制御技術開発	1,500	継続 2/3
	49	一般	植田 滋	東北大学 多元物質科学研究所	高炉内コークス充填層での液流れ促進による低炭素操業の達成	1,500	継続 2/2
	50	一般	植木 保昭	名古屋大学 エコトピア科学研究所 グリーンシステム部門	コークスの燃焼・ガス化挙動および燃焼・ガス化過程における灰粒子特性の解明	1,350	1/2
	51	若手	小屋畑 勝太	八戸工業高等専門学校 教育研究支援センター	未利用工業排水に適用する円形管路用下掛け水車の実証試験とその展開	1,000	1/2
	52	若手	金指 正言	広島大学 大学院工学研究院	CO2 分離を目的とした吸着親和性と分子ふるい性を併せ持つスマートシリカ膜の創製	1,000	継続 2/2
	53	若手	藤木 淳平	(公財)地球環境産業技術研究機構 化学研究グループ	二酸化炭素分離回収用高性能モレキュラーシービングカーボンの設計・開発	1,000	1/2
	54	一般	阿草 哲郎	熊本県立大学 環境共生学部	E-waste 由来の微量元素を対象とした定量的毒性影響評価	1,500	1/1
エコ プロ	55	一般	則永 行庸	九州大学 先導物質化学研究所	石炭熱分解生成物詳細組成分析と詳細化学反応速度モデルに基づくコークス製造に伴う多環芳香族炭化水素(PAH)生成機構の解明	1,500	継続 2/2
	56	一般	今中 信人	大阪大学大学院 工学研究科 応用化学専攻	高性能環境触媒を用いた一酸化炭素ガスの迅速検知ならびに安全浄化	1,500	1/3

注 1) 若手: 2015 年 4 月 1 日現在の満年齢が 35 歳以下の研究者

注 2) 研究期間: a/b; 研究期間 b 年中 a 年目、継続; 継続案件